



2021年1月29日

各位

会社名 ニッポン高度紙工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山岡 俊則
 (J A S D A Q ・ コード 3 8 9 1)
 問合せ先 経営企画室長 関 雄介
 TEL 088 (894) 2321

業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月22日に公表した2021年3月期の連結業績予想ならびに2021年3月期の期末配当予想について、以下の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,800	1,900	1,900	1,300	120.86
今回修正予想 (B)	15,200	2,500	2,500	1,700	158.04
増減額 (B-A)	1,400	600	600	400	
増減率 (%)	10.1	31.6	31.6	30.8	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	13,099	995	970	691	64.27

2. 修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、コロナ禍からの生産活動正常化がいち早く進んだ中国に続き、秋口には米国や日本でも自動車市場で持ち直しの動きがみられ始めたことから、第3四半期連結会計期間での車載向けセパレータを中心とした需要増加を見込んでおりましたが、第4四半期連結会計期間については、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念などから需要の動向が不透明な状況でありました。

しかしながら、セパレータの需要は、第3四半期連結会計期間を通じて旺盛であったことに加え、第4四半期連結会計期間においても、車載向けや産業機器向けを中心に引き続き底堅い推移を見込みます。

利益面につきましても、車載向けの高付加価値品の売上増加やこれにともなう稼働率向上による原価率の低減などにより、前回予想の各利益を上回る見込みです。

以上のことから、2021年3月期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

3. 2021年3月期 期末配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (2020年5月14日)	—	10円00銭	20円00銭
今回修正予想	—	12円00銭	22円00銭
当期実績	10円00銭	—	—
前期実績 (2020年3月期)	10円00銭	10円00銭	20円00銭

4. 配当予想修正の理由

当社は、お客さまへの安定供給体制を確保するための生産設備投資を目的とした内部留保の充実とともに、株主のみなさまへの利益還元を重視し、業績と設備投資の動向を勘案した普通配当の安定的な維持を基本方針としております。

この方針のもと、当期の業績見込みや配当性向などを総合的に勘案した結果、期末配当予想につきまして、1株につき2円増配の12円に修正いたします。

この結果、年間配当予想は、前期実績より1株当たり2円増配の22円を予想しております。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上